

## 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

### 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	学校営繕事業								
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	学校教育課	係	庶務係	評価票作成者	庶務担当係長 馬場 秀樹	
1-3 総合計画における施策の体系	節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」				基本施策	義務教育	コード	4 3 1
						単位施策(中)	学校施設の整備・充実	コード	4 3 1 3
	項	学校教育				単位施策(小)	学校施設の整備・充実	コード	4 3 1 3 1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市立小中学校（12校）		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）	教育内容に応じた学習環境を整備し、安全・安心な学校生活環境を整備する。				
1-5 事務事業の内容	学習しやすい環境作りと学校施設の安全確保のために、定期及び随時の点検や、営繕工事を行う								

### 2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識						
	平成18年度	学校施設の安全確保のために、定期及び随時の点検を行った。アスベスト調査も行った。	耐震に対する取組み、アスベストへの対応など、安全安心への関心が高まっている。	安全・安心・快適な教育環境整備の充実を求められている。							
平成19年度	18年度と同様に定期・随時の点検を行った。又、アスベストについては浮遊調査を行った。	〃	〃								
平成20年度	定期・随時の点検、アスベストの浮遊調査を行った。またガス配管設備改修工事（栄小・唐竹小）を行った。	〃	〃								
平成21年度	定期・随時の点検、アスベストの浮遊調査及びアスベスト種類が追加された事に伴い、定性分析を行った。またガス配管設備改修工事（三崎小・中央小・豊明中・栄中）を行った。	〃	〃								
平成22年度	定期・随時の点検、アスベストの浮遊調査及び栄小学校、双峰小学校のアスベスト撤去を実施した。										
平成23年度	定期・随時の点検を実施。アスベストについては、三崎小学校のアスベスト撤去を実施したことにより、全ての撤去を完了した。										
平成24年度											
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明					
	点検回数(回)			306(回)	306(回)	消防設備・電気工作物・配膳用エレベーター保守・プールろ過装置等保守点検 前期 年306回 後期 年306回					
2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(単)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)	12(校)				
	人件費 c(千円)	30,202	28,858	114,992	117,941	104,427	124,347				
	合計コスト d(b+c)(千円)	1,024	1,024	3,072	3,072	2,976	2,880				
	単位コスト d/a(千円)	31,226	29,882	118,064	121,013	107,403	127,227				
		1校当たり 2,602	1校当たり 2,490	1校当たり 9,839	1校当たり 10,084	1校当たり 8,950	1校当たり 10,602				

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 直接事業費 保守点検等 124,346,750円(修繕料・機械保守委託料・アスベスト調査料・営繕工事費)  
人件費 1人3,000円(1時間) × 320時間 = 960,000円 × 3人 = 2,880,000

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に 対応する実績と達 成度の推移	指標対応実 績(回)	306	306	306	306	306	306				
	後期目標値 に対する達 成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				

### 3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果 (アウトカム自己分 析)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度 担当課評価	A	A	A	A	A	A				

4 段階評価結果	A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する	判断の基準	必要性(必要な事務事業であるか)
	B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要		公共性(公が実施する意味があるか)
	C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要		妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
	D : 事務事業の廃止が相当		効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
			有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
			市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識		次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
	平成18年度	利用頻度及び耐用年数を的確に掴み、早めの点検、修理を心がける。	18年度からのアスベスト調査を継続して行う。教室への天井扇を引続き設置する。	
平成19年度	安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。	"	"	常日頃の学校職員の見視などによる報告で、早い段階に対応をおこなったことと、保守点検等により被害がでなかった。
平成20年度	"	引続きアスベスト調査を行う。	"	"
平成21年度	安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。また、保守等は現状を維持しながら、コストダウンに努める。	一層のコストダウンを図っていく。		保守点検等の実施により、安全に努めることができた。
平成22年度	安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。また、保守等は現状を維持しながら、コストダウンに努める。アスベストについては、撤去を進める。			
平成23年度	安全な学習環境を保つよう定期・随時の点検修繕に努める。また、保守等は現状を維持しながら、コストダウンに努める。			
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

### 4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の 結果	結果		審査会による改善方向の指示
	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
平成19年度	A	継続して事業を進めること。	
平成20年度	A	継続して事業を進めること。	
平成21年度	A	継続して事業を進めること。	
平成22年度	A	継続して事業を進めること。	
平成23年度	A	継続して事業を進めること。	
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			